

地区新人大会大会の反省

「第26回 地区新人ジュニアバレーボール大会」は、大変お疲れ様でした。事務局不在で大変ご迷惑をおかけいたしました。皆様、運営等ありがとうございました。出していただいた反省をもとに次回の大会に生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。

1 運営について

- 新人大会は、開始時刻をもう少し遅らせてもいいのでは。(市民会場)
→ 終了時刻が遅くなかったため、来年度は開始時刻をもう少し遅らせて設定したいと思います。

2 審判、補助員(得点係・ラインズマン)について

- ラインズマンの技術向上、得点の入れ忘れ(めくるスピード) (明倫会場)
- Bパートの主審・副審については、保護者の方もできるように、ゆるく練習していいのでは。(鹿島小・市民会場)
→ 今回は、新人大会だったので小さな学年の児童も参加していたと思いますが、試合に出る以上は補助審もしっかりできるように指導をお願いします。ライオンズ旗争奪大会は、補助審も含めて気持ちのよい大会にしましょう。

3 マナーや応援について

- 保護者の吹笛後の移動(明倫会場・市民会場)
- 2階から応援しないことを朝の監督会議で確認したが、応援していた保護者がいた。(鹿島会場)
→ 耐震関係で2階にはのぼらない。ビデオ・写真撮影はOK
- グリーンカーペットがあってよかった。(鹿島会場)
- ボールを拾いに行く動作(明倫会場)
- トイレのスリッパがバラバラ(明倫会場)
- 男子トイレのスリッパが多すぎた。(市民会場)
→ 選手も保護者もマナー面が少しルーズになっているようです。各チームで基本的なことをもう一度確認して、指導をお願いします。補助員も含めて、同じ反省が出ているようです。よろしくをお願いします。

4 ライオンズ旗争奪大会について

- 決勝トーナメントの上がり目は決めずに、Mさん方式で行った方がよい。(鹿島小・市民会場)
→ ライオンズ旗争奪大会についてまで検討していただき、ありがとうございました。監督会議では決勝トーナメントの上がり目を決めずに、Mさん方式で提案しようと考えています。会議当日はよろしくをお願いします。